

南魚沼郡市 特別活動部 活動報告

南魚沼市立蕨神小学校 赤澤節子

1 研究主題

よりよい人間関係を築く活動の工夫

2 研究推進の概要

(1) 特別活動部会

① 実施期日・会場 5月 2日(木) 南魚沼市立六日町小学校

② 内容

ア 特別活動部の組織づくり

イ 研究主題の決定

ウ 活動計画の作成

エ 推進委員の選出

(2) 実践発表会

① 実施期日・会場 8月20日(火) サンライズ南魚沼

② 内容

ア 部員一人一人が、研究主題に沿って行った学級活動や児童会、委員会活動などの実践を、A4版1枚程度のレポートにして、紹介し合う。

イ 紹介された実践の成果、改善点等について意見交換することで、今後の自校の実践に生かせる情報を持ち帰る。

ウ 特別活動の評価について情報交換し、自校の的確な評価に役立てる。

(3) 南魚沼市学習指導センター研修講座への参加

① 実施期日・会場

6月28日(金) 南魚沼市立五十沢小学校

② 内容

学級づくり講座 「学級づくり、学習指導、日々大切にしたいこと」

〔指導者〕 種村 啓子 氏 (南魚沼市立五十沢小学校 校長)

3 成果と課題 (○成果 ●課題)

○ どの学校でも「どんな活動をするか」の検討よりも、「なぜそれをするか」「どんな力を付けさせたいか」を検討することにより成果を上げている。小規模校が多い南魚沼市では、縦割り班活動がよりよい人間関係を築く活動の柱となっている学校が多い。縦割り班は、日常の遊びや給食、清掃、遠足など、様々な場面で活用が図られている。また、活動後の振り返りが形式的に陥らないよう、自己を見つめ直し、友だちのがんばりを認めることができるよう留意されている。

○ 実践発表会では教員向けリーフレット「楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動(小学校編)」(国立教育政策研究所 H25.7.1)を読み合い、指導ポイントを学び合った。話し合う場や振り返りを大切にした児童会・学級活動や、学校評価に人間関係づくりを位置付けて全校体制で取り組むなど効果的な特別活動の展開をイメージできた。

● 新学習指導要領の趣旨を踏まえて、互いの実践に学びながら、自校の実践をより成果のあるものにしていく必要がある。そのためには児童会活動のみならず学校行事等の改善にも特別活動部員が核となり、適時性のある評価改善をもとにした実践を継続していく。